

豊橋総合動植物公園 経営改革中間報告について

【6つのアクションプランとKPI】

豊橋総合動植物公園の目指す姿と経営改革を実現するために、令和5年9月に「経営改革の考え方について」（取組期間 R5～R12）を策定しました。この考え方において定めた、重点的に取り組むべき分野（アクションプラン）と、KPI（重要業績評価指標）の進捗状況と中間評価を以下に示します。

KPIの中間評価結果は、以下の記号で示しています。

- ◎ 目標を大きく上回る実績の達成ができた。
- 目標どおり、または、殆ど目標値といえる実績の達成ができた。
- △ 実績はあがったが、目標には届かなかった。

I 動植物の収集・管理

【アクションプラン】

- ・ 計画的な動植物の収集と飼育・繁殖
- ・ 展示と動物福祉に配慮した動植物の管理
- ・ 安全安心な動植物の展示・管理

【KPI】

動物飼育に関する業界基準^{※1}を達成し、その状態を維持

※1 WAZA（世界動物園水族館協会）やJAZA（日本動物園水族館協会）が定める動物飼育や動物福祉に関する国際的な基準

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
達成	維持						

令和7年度中間評価 … ◎

令和5年度に上記基準の達成が認められ、令和6年度もその状態を維持している。

動物が生き生きとした暮らしができる『動物福祉』の考え方を柱として、保全や繁殖を推進し、安全にも配慮しつつ引き続き世界基準に沿った動植物の収集と管理を行っていく。

Ⅱ 教育普及・調査研究

【アクションプラン】

- ・ 利用者層に応じた教育プログラムの提供
- ・ 生きものを楽しく学ぶイベントの開催
- ・ 地域の動植物の保全・研究の推進

【KPI】

生物多様性、動物福祉、生きものや環境についての教育普及に関する
プログラム数 200件

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
264 件	302 件						

令和7年度中間評価 … ◎

令和5・6年度ともに、目標値の200件を大きく上回るプログラムを実施した。

生きものや環境に関する教育への取り組みは、動植物園が担うべき社会的役割である。生きものの価値や魅力を伝え、年齢や立場を問わず幅広いニーズに対応するためにも、教育プログラムの体系化や、自然史博物館をはじめとした関係機関との連携を強化、人員体制の見直しを含め取り組みを進めていく。

Ⅲ 利用促進・マーケティング

【アクションプラン】

- ・ マーケティング手法に基づくプロモーションの展開
- ・ 利用者満足度の向上とリピーターの獲得

【KPI】

年間入園者数 100万人以上を確保しつつ、更にその上を目指す

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
966,789 人	971,290 人						

令和7年度中間評価 … △

令和5・6年度は季節イベントやナイトZOOの定着もあり、歴代4位・3位の入園者数を記録した。

引き続き園内アンケートの来園者属性や要望を分析し、利用者満足度の向上につながる取り組みを進めるほか、新規来園者の獲得に向けたプロモーション活動を強化することで、園全体の利用促進を図っていく。

Ⅳ 人材の確保・育成・役割の拡大

【アクションプラン】

- ・ 動植物園経営の理念や目標の徹底
- ・ サービス提供者としての意識・技能の向上
- ・ 動植物に関する専門性の向上

【KPI】

専門研修会への参加回数及び園内講習会の開催回数 年40回

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
42回	49回						

令和7年度中間評価 … ◎

令和5・6年度ともに、専門研修会等への参加や、園内講習会の開催を合わせた回数が目標値40回を上回り、園内で働くスタッフの専門性の向上や、動植物園の魅力的な情報を発信する技術の向上を図ることができた。

スタッフのサービス提供者としての意識・技能や、動植物に関する専門性をさらに向上させるために、引き続き人材の育成や体制の充実などの取り組みを進めていく。

Ⅴ 財政課題への取り組み

【アクションプラン】

- ・ 適切な受益者負担の設定
- ・ サポーターによる支援制度の確立
- ・ 公費負担の明確化と経営戦略の策定

【KPI】

経常経費※2に対する公費負担率 50%以下

※2 人件費や光熱水費、動物飼料費など園の機能維持のために恒常的に支出される費用

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
55.4%	54.7%						

令和7年度中間評価 … △

令和5年度と比較して、令和6年度の公費負担率は0.7%減少したものの、目標値である50%を下回ることにはできなかった。人件費、光熱費、資材・飼料コストの高騰等により、経常経費の引き下げは非常に困難だが、引き続き、自主財源の確保と効果的・効率的な支出等を含む経営戦略を検討していく。具体的には、適切な入園料等について令和7年度に検討を行うほか、寄附やサポーター制度などの充実についても取り組みを進めていく。

VI 施設環境マネジメント

【アクションプラン】

- ・ 利用者に優しい園内環境の整備と情報提供ツールの充実
- ・ 利用者ニーズや動植物管理に適した施設整備と施設整備計画・長寿命化計画の策定

【KPI】

豊橋総合動植物公園魅力向上のための施設改修 年1件以上

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
3件	3件						

令和7年度中間評価 … ◎

（令和5年度）

- ・ 休憩所兼講義室「ひだまり交流館」
- ・ サーバル舎
- ・ Wi-Fi 西園エリア整備

（令和6年度）

- ・ Wi-Fi 東園エリア整備
- ・ 西第二駐車場拡張（令和7年4月利用開始）
- ・ 旧動物資料館解体撤去

令和5・6年度ともに、目標値を大きく上回る件数の施設改修を行うことができた。利用者ニーズや動植物の管理に求められる条件等に配慮しつつ、利用者や動物、職員にとってより安全安心で快適な環境を目指し、さらに園の魅力を維持向上させていくために、施設への継続的な投資を、動植物園事業の財政環境と投資財源の確保を意識しつつ継続して行っていく。